



03.今日は真菅駅で下車



04.この建物はさて何屋さんでしょう？

直ぐの踏切を渡り狭い道を南に向かう。真菅駅付近には民家が多く車が狭い道に溢れている。西側に奥に細長く参道が伸びる神社が現れる。神社の名は「宗我都比古神社」。曾我川の元は宗我なのかも知れない。川と縁が有りそうなので道路から参拝しておく。

南の彼方には大和三山の「畝傍山」がぼんやりと見える。名山というほどでは無いが平地にポツンと飛び出した山は目立つ。



05.宗我都比古神社の前を通過



06.南に「畝傍山 (H=198m)」が鎮座

道を右に折れ西の川の方に向かう。一戸建て住宅の間を進むと「曾我川緑地」に着く。公園の東端を南に向かうと曾我川の土手に着く。よく見ると公園部分の土手が周りよりも低くなっている。こちら側にも低い土手が造られ、その間が公園として整備されている。はは一ん、寝屋川水系で出会った増水時の遊水地がここにも有る。



07.寝屋川水系で見た遊水公園がここにも有るぞ

やっと出会った川の土手の東側を南に向かう。国道 24 号の橋を潜り進むと電柱に「ここは曾我町です 榎原市」と名札が貼ってある。川名と同じ町名が現れた。橋を渡り左岸側の桜並木道を進むと、対岸に二次支流の「高取川」が合流している。久しぶりの支流だ。



08.榎原市には川名と同じ曾我町が有る 09.南東から支流の「高取川」が合流

JR 桜井線を潜り、国道 166 号の橋を見て道路を横断すると直ぐ隣に関電の電力線を渡す橋が架かっている。送電鉄塔等を建てるのが困難な街中では道路の下に電力線を設置しているので、川では橋が必要になったのだろう。



10.電力線用の橋は珍しい

大きな桜並木を進み左岸から右岸に移ると川沿いに鬱蒼と茂った鎮守の森と神社が有る。丁度昼時なのでこの森の木陰で昼を摂ることにしてコンビニお握りの昼とする。今日は曇りで蒸し暑く、桜並木が続く川の土手を歩くのは晴天時が良いのだが曇りなので勿体ない。



11.川の両側は鬱蒼とした森のよう



12.この神社の拝殿前の石で昼を摂る

10分ほどの休憩で遡行を再開。畝傍山が近くなり、その姿は盛岡付近から見た岩手山をミニミニ化し、左右を逆にしたような山容である。



13.岩手山を小さくしひっくり返したような畝傍山

国道24号の自専道の高架橋を潜り進むと近鉄南大阪線の鉄橋が現れる。目を西に向けると直ぐ近くの線路が川から33.3%の勾配で下った所に駅が有る。駅が「いらっしゃいー」と招いている。今日は蒸し暑く、予定ではまだ5km先の和歌山線の駅まで行くつもりであったが、そこまでバス路線は近くになく未だ蒸し暑さに慣れていない体を考えると途中でへたると困るので、ここはお招きに応えることにしてスタコラと駅に向かう。

踏切を渡ると駅近くの角が昭和そのものなのでカシャ。南大阪線の「坊城」駅も地下改札方式の駅である。やって来た阿部野橋行き準急に乗り帰路につく多くの駅に停まり大阪線よりは時間のかかるダイヤである。



14.令和になっても昭和は残る

帰りのこだままで時間が余るので「阿部野ハルカス」の展望台にのぼることにする。展望台行きエレベータ前の入場券売り場で「お一人、●●500円です。」。500円玉を出すと、「千五百円です!」。えっ!1500円もするのだ。仕方なく千円札を出しエレベータに向かう。

薄曇りで景色がぼやけている。一度も訪れたことの無い四天王寺などが足元に見える。天候別料金設定は出来ないのだろうか?



15.城東、関西、阪和、南大阪、各線
全員集合！



16.北には四天王寺が



17.天王寺公園は数少ない緑だ

ぐるりと反時計回りに見て行くと、ここでも建物外の高所とスリルが味わえる特別体験を実施している。明石海峡大橋の塔頂ツアーの企画と運用をしてきた身には興味が沸き若い係りに聞いてみる。1年前から始めたようで安全確保もよく出来ているようだ。



18.ここでもやりだした、ビル（塔頂）歩行体験、千円追加だよ

時間がたっぷり有るので近鉄百貨店をくまなく歩きまわる。低層階のビル屋上とハルカスとを繋ぐ所にベンチがあるのでそこで時間を潰す。ビル風が強く蒸し暑さが吹っ飛んでいく。えー気持ちヤー。

本日の歩行距離：4.8km。調査した橋の数：22。

総歩行距離：10,484.0km。総調査橋数：13,388。

使用した 1/25,000 地形図：「桜井」（和歌山 1 号-4）、「畝傍山」（和歌山 2 号-3）